

⚠️ 取付け作業前にご確認下さい。

- 錠前製品の特質上「未開封」「未使用」であっても、返品交換をお受けできない商品がございます。必ず、実際に設置されている錠前と、交換用製品の形状や寸法が適合しているかご確認下さい。
- 作業中はストッパーなどでドアを開けた状態で行って下さい。
- 取付けされている固定ネジは再利用します。無くさないよう保管して下さい。



1. ドアハンドルの動作を制御している錠ケースを取替えていきます。錠ケースを交換する際はハンドルを取り外す必要があります。図は、三協立山アルミ「MIWA POM」の錠ケースが使用されているハンドル例です。

[三協立山アルミ シリンダーの交換方法はこちら](#)



2. 図は TOSTEM(現:LIXIL)「MIWA QDC-18」の錠ケースが使用されているハンドル例です。本説明ではこちらのハンドルを例に外し方を説明していきます。

[TOSTEM シリンダーの交換方法はこちら](#)



3. 錠ケースは、ハンドル上側のドア側面に、指でカチャカチャと押し込めるツム(ラッチ)が出ている部品になります。



4. ハンドルのデザインは異なるものもございますが作業内容はほぼ同様です。ハンドルの固定ネジはカバーの内側にありますので、カバーを取り外していきます。



5. ハンドル上下のこの部分がカバーとなっています。手で引っ張るだけでは破損する恐れがあるのでマイナスドライバーなどをご用意ください。



6. ハンドルとカバーの間に、図のようなツムの引っ掛かりがあります。



7. [手順6]で確認したツメをマイナスドライバーで開き、引っ掛かりを浮かせ、カバーを外します。この際にカバーを破損させないように注意しましょう。

8. 上下のカバーを取外したら、図のような内部が現われます。

9. 見えてきた固定ネジをプラスドライバーでゆるめます。上部と下部で計4ヶ所のネジをゆるめるとハンドルが外せる状態になります。



10. 室内ハンドルが外れます。この時、室外ハンドルも外れる状態になっておりますので、落下による破損などにご注意下さい。



11. 室外ハンドルが外れます。



12. 既存のケースの上下のネジを取り外すとケースをドアから取り出せます。後は新しいケースを入れてハンドルを取り付ければ完了です。

[▲ページトップ](#)